

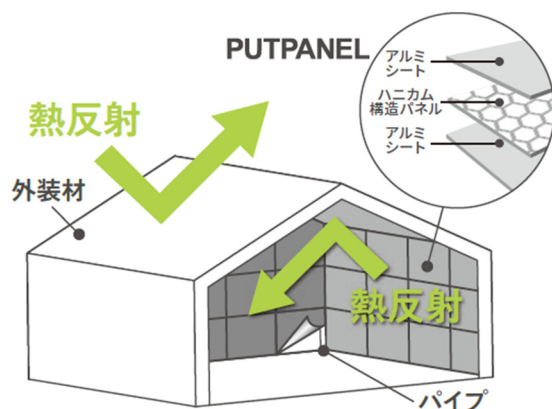
## 農業現場の課題を解決する環境制御ソリューション

～ プランツラボラトリー株式会社への出資について ～


アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役社長：堀部恭二）は、プランツラボラトリー株式会社（代表取締役：湯川敦之）に対して出資したことをお知らせいたします。

プランツラボラトリー株式会社（以下「当社」）は、「Sustainable Farming ～人と植物と地球のみらいを考える～」という企業理念の下、農産物の安定供給の実現を目指して設立され、独自の環境制御技術を強みとしたソリューションを提供してきました。遮熱と断熱の効果を併せ持つ建材「PUTPANEL（プットパネル）」、高い耐候性を持つ独自設計の建屋「PUTHOUSE（プットハウス）」などの資材を開発し、環境制御がしやすくエネルギー効率に優れた農業施設や小口分散の都市型植物工場「PUTFARM（プットファーム）」の普及に取り組んでいます。

倉庫や畜舎などの農業インフラは、多くの施設で老朽化が進んでおり、その設備更改が農業界における喫緊の課題となっています。さらには、近年の資材価格の高騰も相まって、農業インフラの整備に関する負担は一層大きくなっています。かかる中、当社のソリューションはその機能性のみならず、比較的短期間・低コストで導入できる点からも注目されており、サツマイモのキュアリング倉庫や菌床しいたけの栽培ハウスなど、農業生産・流通の様々なシーンにおいて採用されています。



アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は2002年に設立され、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、農林漁業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業に対して、出資を通じた取組みの支援を行っております。



今回の出資は、「PUTPANEL」、「PUTHOUSE」などの技術的な優位性や高い汎用性を有する当社のプロダクトが、農業施設の老朽化や酷暑対策といった業界の深刻な課題に対するソリューションとなり、ひいては持続可能な農林水産業の実現への貢献が期待できる点を評価したものです。本件出資後におきましても、弊社株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫をはじめとした JA グループ等のネットワークを活用しながら、当社事業をサポートすることを通じて、国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL：03 5577 6377